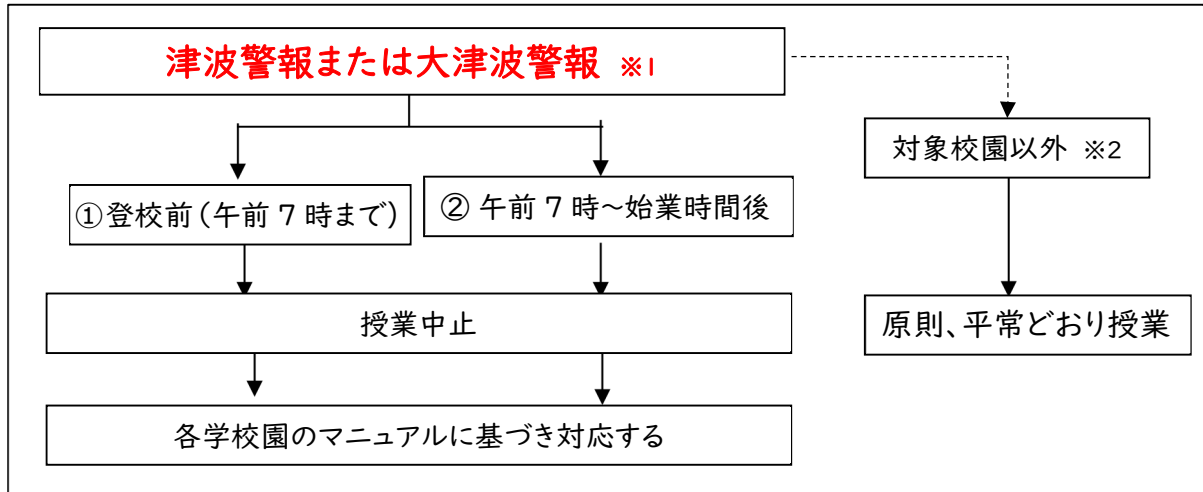


# 第1章 津波への対応

【(岸和田市教育委員会 平成 30 年 4 月)】

## 1. 学校園における津波対応指針



※1 対象校園は、南海本線以西に位置する学校園(中央小、岸城幼、浜幼小、朝陽幼小、春木幼小、大芝幼小、野村中、春木中)と南海本線以東に位置し、避難所に位置付けられた学校園(城内小、東光小、大宮幼小、城北幼小、新条幼小、岸城中、光陽中、北中)とする。

## 2. 地震・津波災害時の避難場所

避難レベル	避難場所	避難方法
<1次避難 >	教室	災害発生時に自分がいる一番近くの教室 体育館・運動場・その他の場所では、「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」場所で頭部を守り、身を低くする。
<2次避難 >	運動場東側	教室では校舎倒壊の恐れがあるなど安全が確保できない場合に、授業中は指導者の指示で。その他の時間は各自が避難する。
<3次避難 >	光陽第2グラウンド	大津波警報が発令された場合 ※津波警報は<2次避難>対応

※ 朝陽幼稚園児も同様

※ 朝陽小学校の海拔

- 平成 24 年 8 月の内閣府の公表によるデータから岸和田市における最大震度は「震度6弱」とされており、津波高は最大約5mと想定されている。最大到達時間は 95 分から 105 分。また、朝陽小学校の海拔は、正門

3.5m、裏門6m、校舎1階5m、3階10mである。

※ 津波避難ビル

- ・ 学校3Fは津波避難ビルに指定されている。遠くまで逃げるのが困難な方のために開放する。

### 3. 大津波警報が発令され、光陽グラウンドへ避難する場合<3次避難>

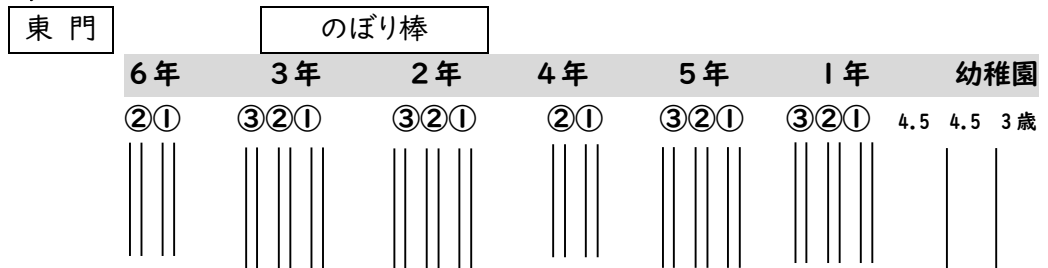
#### (1) 避難方法

内容	児童の動き	教職員の留意点
<p>①非常サイレンを鳴らして非常事態の発生を知らせ、放送で地震があったことを知らせる。(教頭) 「今、非常に大きなゆれが起きました。頭を守りながら、その場に座りましょう。窓の近くにいる人は、窓から離れましょう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静かに放送を聞く。</li> <li>・机の下に隠れ、頭を守る。</li> <li>・机が動かないように、机の脚を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯持参の教職員は、着信を確認する。</li> <li>・放送を静かに聞かせる。</li> <li>・入口を開ける(避難経路確保)。</li> <li>・ガラスが飛び散らないようにカーテンを閉める。</li> <li>・窓も閉める。</li> </ul>
<b>大津波警報発令</b>		
<p>「大津波警報が出されました。先生の言うことをよく聞いて、静かに運動場へ避難しましょう。」 (教頭)</p> <p>②運動場へ避難する。 ・クラスごとに体育倉庫前に並ぶ</p> <p>・ペアで並ぶ</p> <p>③光陽グラウンドへ避難する。 「大津波警報が出されました。今から光陽グラウンドへ避難します。先生の指示に従ってペアを作りましょう。」 (ハンドマイク・教頭)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おはしも」を守り、運動場に避難する。</li> <li>・運動場に出たら走る。</li> <li>・静かに並ぶ。</li> <li>・名前を呼ばれたら返事をする。</li> <li>・人数確認後座って待つ。</li> <li>・ペアを確認する</li> <li>・低学年は、間を開けて2列、高学年が2列のまま、低学年の間に入る。</li> </ul> <p>6年—幼稚園(信号から避難) 5年—1年(歩道橋から避難) 4年—2年(歩道橋から避難)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年付きの先生は、救急バッグを持つ。学年付きの学年について歩く。</li> <li>・的確な指示を出す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①帽子で頭を守る。</li> <li>②「おはしも」の確認。</li> <li>③運動場に出たら走る。</li> </ul> </li> <li>・避難名簿を持参する。</li> <li>・時間があれば、靴を履き替えて運動場へ避難させる。</li> <li>・名簿の順(2列)、東門方向に向かって下がって並ばせ、点呼を取る。</li> <li>・学年主任は出欠用紙に人数を記録し報告する。 教職員→教頭→校長 ↑幼稚園主任</li> <li>・準備が完了した学年から出発する。</li> <li>・東門を開ける。(校務員)</li> <li>・避難経路の安全を確認す</li> </ul>

<p>④整列・人数確認をする。</p>	<p><b>3年（信号から避難）</b>  <b>・教頭が先頭で歩く。</b>          ・前の人との間を開けずに、黙って歩く</p> <p>・ペア学年で整列する。          ・間隔をあけて整列する。          ・人数確認後、座って待つ。</p>	<p>る。(家庭科専科・音楽専科)</p> <p>①Aの高架を確認→①が通れない時は②③を確認→②Bの高架を確認→③Cの踏切を確認</p> <p><b>(先頭の教頭に報告する。)</b></p> <p>・Aコースをペア学年で歩く。          ・危険物がないかどうかを確認しながら、安全に誘導。          ・交差点の先頭には教職員が付き、渡った後、先頭を誘導する。</p>
<p><b>保護者への引き渡し</b></p>		
<p>⑤児童を保護者に引き渡す(引き渡しカードにある人)          「保護者の方は、上の子どもさんから順に引き取りに行ってください。」(各担任)</p>	<p>・引き渡した児童の確認(担任が名簿にチェックする)          ・引き渡し支援は各学年付きの先生が行う。</p>	<p>・引き渡しが終わったら、学年主任は、(教頭)に報告する。</p>

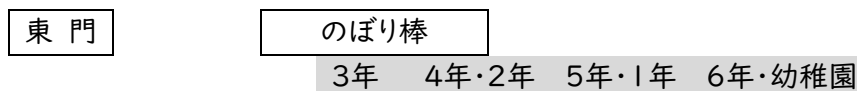
(2) 集合隊形

a, 運動場へ避難する。



- ・学年番号のあるフェンスに向かって並ぶ。
  - ・混合名簿順(2列)に並ぶ。
- (幼)は1列で集合

b, ペアに並び替える。3年生はそのまま



※人数が足りないときは、4年1人で2年2人連れるなど学年内で調整する。

3 の 3	3 の 2	3 の 1	2 の 3 ②	4 の 2 ②	4 の 1 ①	2 の 3 ①	2 の 2 ②	4 の 2 ②	4 の 2 ①	2 の 1 ②	2 の 1 ①	4 の 1 ②	4 の 1 ①	2 の 1 ①	1 の 3 ②	5 の 3 ②	5 の 3 ①	1 の 3 ①	1 の 2 ②	5 の 2 ②	5 の 2 ①	1 の 2 ①	1 の 1 ②	5 の 1 ②	5 の 1 ①	1 の 1 ①	6 年	幼 4・5 歳	6 年	幼 4・5 歳	6 年	幼 3 歳
-------------	-------------	-------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	--------	---------------	--------	---------------	--------	-------------

### (3) 避難経路図

- ① 行き…Aコース(ペア学年で)
- ② 帰り…Aコース(1年・5年・6年・幼稚園)、Bコース(2年・3年・4年)



### 引き渡し方法

- ① 光陽グランドに到着したら学年ごとに出席番号順で並び直し(学級 2 列)、点呼を行い保護者の迎えを待つ。
- ② 保護者の迎えがきたら、学級担任を中心に「引き渡しカード」で保護者(引き渡し者)の確認を行い、児童の引き渡しを行う。(学年付きの担任外でサポート)
- ③ 迎えに時間がかかる児童については、状況に応じて対応を検討しながら、保護者の引き取りまで預かる。